

本部と5支店体制、複数集落で効率的な運営

のうじくみあいほうじん けーいーけー 農事組合法人 K E K

※2025年現在

■組織情報

所在地	富山市八尾町小長谷地区
設立年次	法人化 : 2010年3月 4集落営農合併 : 2015年3月
代表者	組合長理事 山口 博美
構成員	114人
役員等	本部：専務理事1名、常務理事5名、監事3名 支店：部長各5名（総務、労務、栽培、機械）

小学生の田植え体験

組織の概要

当該組織が所在する黒瀬谷地区は、富山市の旧八尾町に隣接する10集落からなり、市中心部から約17km離れた中山間地域である。

当地域のうち1級河川久婦須美川右岸に所在する4集落営農組織が平成27年に、その後、令和2年からは新たに1集落営農組織が合併し、現在は5集落で構成する営農組織である。

組織の変遷

- 昭和51年 機械利用組合の「小長谷営農組合」設立（構成農家45戸）
- 平成9年 協業経営組織（集落営農）に再編（同44戸）
- 平成22年 法人化「農事組合法人KEK」設立（同47戸）
- 平成27年 4集落営農組合が合併新生「農事組合法人KEK」誕生（同96戸）
- 令和2年 隣接する1集落営農組織が合併（同114戸）
現在に至る

生産状況

●経営耕地面積	123ha
●水稻	91ha（飼料米6.3ha）
●大麦	5.3ha
●そば	5.8ha
●にんじん	0.3ha
●しゃくやく	0.2ha
●醸造用ブドウ	1.3ha（ハウス3棟）

主な設備

●トラクター	13台
●コンバイン	8台
●田植機	6台（直進アシスト付1台）
●播種機	3台（V溝直播2台、麦用1台）
●乾燥機	11台
●パイプハウス	18棟
●色彩選別機	3台
●ドローン	2台

特徴的な取組及び成果

- 昭和47年の第2次構造改善事業を契機に、黒瀬谷地区では5つの営農組合が設立され、1組織の解散後も4組織が平成4年～22年度にかけて段階的に集落営農化された。旧町村単位での集落営農構想も協議されたが、組織間の温度差から進展しなかった。
- その後、小長谷営農組合が法人化し（農）KEKが発足したことを契機に、残る3営農組織でも法人化への関心が高まった。しかし、単独での法人化では将来性が見込めないとの判断から、4集落営農の合併による法人化の協議が進んだ。ちょうど、農地中間管理機構の新規補助事業が開始され、その活用が可能となったことで協議がまとまり、平成27年3月に4集落営農が対等合併して現組織が発足した。対等合併のため出資額調整では各集落・構成農家の合意形成に苦労した。
- その後、隣接する集落営農から組織単位で加入したいとの申し出があり、地区の将来を見据えて受け入れた結果、令和2年3月には構成員114戸、経営面積約123haの組織へと拡大した。
- 運営は本部と5支店体制で行い、作付方針や肥料設計など基本事項は本部が決定し、日々の営農活動は支店ごとに実施する。本部が資機材の配分調整も担い、効率的な運営を行っている。
- 地区の小学校児童と一緒に田植えや稲刈りを行う米づくり体験活動に協力している。

今後の目標

- 集落では、組織の拡大ではなく持続的に維持していくことを基本方針としており、パイプライン改修事業による遠隔自動給水栓の導入など、スマート農業を活用した省力化を進める。
- 高収益作物の売上拡大に向けて、にんじん・しゃくやくの生産拡大での可能性を検討している。
- 将来的には収益性の向上と作業の安定運営を図るため、専従者を1～2名雇用できる体制づくりを目指している。